

令和6年

1月19日(金) — 2月14日(水)

観覧無料

第23回

てんこく

篆刻展

講座「篆刻教室」の受講生と「常心篆会」の会員による作品発表会です。
講師の宮本瑞邦先生ご指導のもと、楽しみながら篆刻に親しむ私たちです。

会場：高松市香南歴史民俗郷土館

香川県高松市香南町由佐253番地1

開館時間：午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌平日)



『猶龍』 甲骨文字

宮本瑞邦刻

読み ゆうりよう

意味 龍にたとえられるような

大人物をいう。

智慧や学問が深く、心の底が

窺いしれないこと。

(計り知れない志)

第22回の展示作品



企画展「第23回 篆刻展」関連講演会「篆刻のはなし」

日時：2月10日(土)午後1時30分から3時まで

場所：高松市香南歴史民俗郷土館 第1研修室

講師：宮本瑞邦氏(日本篆刻家協会常任委員)

参加費：無料

定員：先着25名(申込要)

高松市香南歴史民俗郷土館

香川県高松市香南町由佐253番地1

電話：087-879-0717



当館HP